

## 無視できない町の特異性

他の自治体と比較出来にくい周防大島町の特異性を無視することはできない。まず、有人離島は4島あり、374人が暮らしている。(浮島237人、笠佐島12人、情島106人、前島19人) また、町内には270の自治会があり、小さな自治会が点在していることがわかる。

高齢化率も47%を超えており、今後とも高齢者への各種支援が必要と思われる。

最後に視察研修における主な意見は、議員を何人にしたらよいかではなく、議会がしっかり議会改革、議会活動を行えば住民に分かってもらえるのではないか。また、定数が少なくなっても、議員の質が上がるわけではない。むげに削減することはいいことではない。

また、議員の仕事は一生懸命すればするほど過重になる。自営業と定年退職者しか議員になれない。等である。

議会と住民の間を短くする方法、議会活性化について、「議会基本条例」の必要性についても論議された。

以上の理由から、諮問委員会は議長に答申する内容を決したところである。この答申内容を基にこれから議会で協議していく。



議長に答申書を渡す魚原委員長

## 答申 議員定数等問題に関する調査研究について

議会運営委員会 委員長 魚原満晴

平成23年3月8日付けで諮問のあったこのことについて、次の通り答申する。

議員定数は18名か20名が望ましい。議員報酬は同規模自治体の平均額より低い、特別職報酬等審議会に判断は委ねる。

議会として、議会活動が多くの人に伝わっていないことを真摯に受け止め、CATVによる議会中継など種々の手段を使うことにより多くの住民に議会活動を伝える努力をすべきである。

また、議会活性化の一環として住民との距離をいかに短くするか、議会基本条例など具体的な活動内容について継続して調査・研究する必要がある。

### \*\*\*\*\* 委員会開催状況 \*\*\*\*\*

第1回	平成23年4月27日	第2回	平成23年5月10日
第3回	平成23年5月23日	第4回	平成23年6月3日
視察研修	平成23年6月28～29日		熊本県御船町、福岡県志免町
第5回	平成23年7月14日	第6回	平成23年8月2日